

2014 年度 兵庫県トライスロン協会 第 3 回理事会議事録

1. 開催日:2015 年 4 月 5 日(日) 9:00~10:20

2. 開催場所:神戸市立兵庫勤労市民センター会議室

3. 出席者:

(役員・理事)的場副会長、渡邊理事長、水野副理事長、酒井常任理事、浅田常任理事、
長谷川常任理事、川崎理事、大原常任理事、仲宗根常任理事、増本理事、
岡本(裕之)理事、山本事務局長

(オブザーバー)山下会員

議事録作成:山本事務局長

4. 議事内容

(1) 開会宣言:渡邊理事長

(2) 定足数の報告:山本事務局長

・理事総数会長以下:35 名

・出席者 12 名

欠席 21 名(内 委任状 19 名)

・合計 31 名(委任状を含む)。定足数を満たし、理事会の成立を確認した。

(3) 会長挨拶:末松会長

・祝辞兼挨拶文を渡邊理事長代読

(4) 議長選出:規約に則り、会長代理として、渡邊理事長が議長に選出された。

(5) 審議事項

● 第 1 号議案 2014 年度事業活動報告:水野副理事長

・資料に従い、前回の 10 月の理事会以降の活動を中心に報告。

・各大会は地元の活性化を狙っている。

2014 年度の懸念事項として、潮芦屋は地元の参加が少ない。

加西は、51.5Km の距離なので、今年もリレーは残すものの、地元加西からの参加は、
222 名中リレー 2 名を含む 10 名。

各地で大会を開催するためには、地元の参加者の増加が課題。

加西では、見学者も含めて、参加人数をシビアにカウントしている。

観戦者を含めて、増員が望まれるところ。

● 【審議内容】

・10 月の理事会で承認済だが、2015 年度は、仲宗根技術委員長を技術代表に任じて開催する。各地区の理事に審判長やチーフを担当して頂きたい。協力をお願いします。(水野副理事長)

2015 年度の案と 2014 年度の実績は【2015 年全国／近畿ブロック主催大会・事業】の資料に記載されている。積極的に手を挙げて頂きたい。(仲宗根技術委員長)

・【結論】第 1 号議案は、提案通り承認された。

● 第2号議案 2014年度収支決算報告:山本事務局長

・資料に従い、説明。

・2014年度も、登録会員数は増加したが、予算設定の800人には達しなかったため、収入面で差異が生じた。

・支出の大きな項目としては、事業費と国体の派遣費用など。

県体協からの補助金は、正式競技以外は、監督の補助はなく、宿泊も2泊のみ、交通費も全額は補助されないため、開催地が遠いと協会の負担が大きくなる。

残念ながら、2015年の和歌山国体では、トライアスロンは開催されないため、支出はない。2014年度の不足分を回収できる見込み。

事業関係では、大会の協会負担金がある。例えば、明石の場合は、大会実行委員会から支給される審判の交通費は2000円のため、支給額3000円との差額分が協会の負担となっていて、大会規模に対して、負担が大きい。

・潮芦屋のひょうご生涯スポーツの助成金、体育協会の補助金は現在、最終の査定中。

差額については、次年度繰越金として扱う。

・補足(渡邊理事長)

当協会25周年記念会員限定のポロシャツ在庫がある(M・L)。5000円にて頒布中。

是非、購入をお願いしたい。

・【結論】第2号議案は、提案通り承認された。

● 第3号議案 2015年度事業計画案:渡邊理事長

・資料に従い、説明。

・2014年度も7大会を主催・共催・主管・協力した。

・兵庫県体育協会の協力の下、【ジュニア育成強化・拠点事業】が一年にわたり、展開され、大きな成果を上げた。

2015年度は、更に優秀な選手に絞り込んだ【スーパーアスリート養成事業】を新規に体協へ提案、男女2名(中尾大樹、内田真樹)の両選手を推薦している。

中尾選手は、今年、西脇工業高校の陸上部に所属する。スーパーアスリート指定が下り次第、西脇工・指導者へトライアスロンへの理解をお願いに行く予定。

色々な面で支援が必要な選手達、協力をお願いしたい。

・今年度から、補助金が認められた強化事業として、岩手国体での男女2名の選手の入賞を目指すべく、男子八尾、女子本多、両監督の指導の下、準備していく。

・懸案課題の高校生の強化は、高校生の登録が増え、高校生選手権が内実を伴う形になりそう。登録選手には、参加を個別に呼びかける。高校の拠点ができるように県下の校長、教員に働きかけを続ける。

・【2021年ワールドマスターズゲーム】は、今年度から開催希望の募集が始まる。開催希望は、5月末までに、自治体の合意を得て、回答する。トライアスロンは、11の中核競技の1つとして実施が決まっている。

明石、加西、芦屋に呼びかけする。

関西 WMG の事務局は、県教育委員会。あくまで、行政主体。

- ・パラトライアスロンは、選手が確実に力を付けてきている。一般の大会に障害者も一緒に出る流れ。今年初めて、丹波市大会でも受入を行うことになった。
身体障害者だけでなく、知的障害者の受入も依頼が来ている。伴走の問題など、万全な準備が必要だが、3名のパラトラ担当理事を中心にできる限り、受け入れていく。
 - ・尼崎スポーツの森の館長と面談する機会があった。3年後に尼崎南岸地域に大きな公園や施設ができる予定。こちらも猪名川町と併せて、育成・強化の拠点としていきたい。
 - ・丹波、潮芦屋、明石、加西、三木の大会が大きな柱だが三木については、来年度から、指定管理会社が変わり、来年度以降、継続して大会が実施できるかどうかは、不透明だ。
 - ・今年度の兵庫県選手権は、日本選手権の予選会となる【びわ湖トライアスロン in 近江八幡】の大会で開催する。
 - ・JTU 社員総会は、従来は、3月と6月に開催していたが、2015年度からは、6月一回のみに変更となった。(緊急かつ特別な審議事項があれば、臨時開催される)
 - ・大会運営ばかりでなく、活動領域が広がっている。トライアスロンの更なる普及と強化を目指し、強い使命感を持って、新任の若い理事達と共に、協会の運営を行っていく。
- ・【結論】第3号議案は、提案通り承認された。

● 第4号議案 2015年度予算案:山本事務局長

- ・資料に従い、説明。
- ・2015年度も、会員登録数800人で予算を設定した。
- ・今年度は、体育協会から育成と強化プロジェクトとして、二本立てで、補助金の内示があった。
- ・国体強化認定、スーパーアスリート事業など、認定の時期や認許予算など、不確定な部分がある。活動の成果で実際にどれだけ給付されるかはまだ、分からない。
そのため、今年度も別会計とし、予算案には、組み込んでいない。

● 【審議内容】

(1) 須崎常任理事より、スイムの安全性確保のため、水上バイクの導入についての提案があった。

レンタルで、大会費用からどれだけ算出できるかにもよるが、費用負担は、5~7万円程度。

最近の参加者には、スイムが低レベルの選手が見受けられる。十分な安全対策がとられていたかどうかは問われる時代である。

導入により、機動力が大幅に向上するので事故予防の可能性は大きくなる。

→【結論】水上バイクをオープンウォーターの大会(明石、加西、潮芦屋)に導入する。

予備費10万円を予定する。予算書は修正せず、決算時に計上する。

(2) 会費収入は、同じ800人でも団体登録が増えれば、減額になるのでは？

→一般登録と団体登録では、JTU へ収める会費の額が違うが、HTA への納入金額は同額となる。
今年、団体登録を初めて導入したので、団体登録があるのに一般で登録した会員も結構おられる。チームや仲間に声掛けしていただき、会員数を増やしてほしい。
(山本事務局長)

・【結論】第 4 号議案は、提案通り承認された。

● 第 5 号議案 2015～16 年度 役員構成案:山本事務局長

・役員名簿(案)にて、提案。

・誤記訂正点

①末松会長 衆議院→参議院

②榎本副会長 兵庫県議会議員→元兵庫県議会議員

・異動点

①仲宗根達也 常任理事→副理事長

②木倉博 理事→常任理事

③新規任命理事 竹中義貴、伊藤誠規

④清水正博 常任理事→監事

・補足(渡邊理事長)

この 2 年間、活動しなかったごく一部の理事に対しては、文書にて、継続の意思を確認した。継続の意向を確認したので、そのまま留任としたが、今年度の活動状況を見て、年度末に解任するか否かの判断を行う。活動が多彩になり、顔の見えるメンバーで、活動を進めていきたい。協力をお願いします。

・【結論】第 5 号議案は、提案通り承認された。

● 第 6 号議案 HP のバナー掲載基準について:渡邊理事長

・資料はなし

・現在、年間を通じてサポートを頂いているのは、トライススポーツ様。

今年度、Sports World 三宮店様から、サポートの申し出があった。

一方、八尾監督からは、育成プロ関係で人的サポートを頂いている。

このような背景の中、HTA の HP では現状、バナーを取り入れていないが、検討の時期に来ている。

すぐに決められる事案ではないが、皆さんの意見を聞いて、次回の理事会で正式に提案できるようにとりまとめたい。

→有料にしたらいという意見、有料とした場合、JTU の倫理規定、社会規範との関係はどう考えるかが重要などの意見が出た。

・【結論】酒井常任理事を中心に継続審議。次回、理事会に提案。

● その他、報告など

・各委員会からの報告は、時間の関係上、総会での審議とした。

(6)閉会宣言：渡邊理事長

以上